



2019年5月15日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 岡本 毅  
 (JASDAQ・コード7746)  
 問合せ先 財務部長 風間 卓  
 電 話 04-7137-3111

営業外費用の発生及び2019年3月期連結業績予想値と  
 決算値との差異に関するお知らせ

当社は、2019年3月期連結会計年度において、営業外費用を計上するとともに、2018年10月26日に公表いたしました2019年3月期の業績予想と、本日公表の決算値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

## 記

## 1. 営業外費用(持分法による投資損失)の発生

2018年10月26日公表「業績予想の修正並びに営業外収益及び営業外費用の計上に関するお知らせ」の通り、当社の持分法適用関連会社であるJAPAN 3D DEVICES株式会社に対する投資持分について、2019年3月期第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)において26百万円の持分法による投資損失を計上しておりますが、加えて、2018年10月1日から2019年3月31日までの間に30百万円の持分法による投資損失が発生し、合わせて、2019年3月期連結会計年度における持分法による投資損失は57百万円となりました。

## 2. 2019年3月期通期連結業績予想値と決算値との差異

(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,140	百万円 280	百万円 200	百万円 110	円 銭 4.84
今回発表実績 (B)	6,078	331	271	186	8.21
増 減 額 (B-A)	△62	51	71	76	
増 減 率 (%)	△1.0	18.2	35.5	69.1	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	5,790	212	106	83	4.14

## 差異の理由

2018年10月以降、サッカーワールドカップ需要の反動などにより、当社のプロジェクター用反射鏡及びフライアイレンズへの需要が弱含みとなったため、修繕費などの製造費用及び一般管理費の支出を抑制いたしました。ガラス熔融炉は、定期的な炉修が必要であり、コストに占める固定費の比率が高いことから、概ね計画通りの生産をいたしました。これらにより、売上高は、前回発表予想比で62百万円下回ったものの、営業利益は前回発表予想を51百万円上回りました。

2018年10月26日業績予想公表以降の対米ドル為替相場について、想定ほどは円高が進なかったこともあり、経常利益は、前回発表予想を71百万円上回りました。

以 上